CTI アプリケーションとの連携による自動録音のご紹介

CTI アプリケーション等と連携して失敗しない完全自動録音が可能です。
従来の音声レベルで自動録音をする場合、音声がある程度途絶えた時に実際には電話中であるにもかかわらず電話終了と判断してファイル保存することがありましたが、CTI アプリと連携をとることで一回の電話に付き一ファイルの生成が確実となります。

これを実現するため、以下のいずれかに該当する必要があります。

１）　CTI アプリ側で指定の場所に指定のファイルを生成できること。
受話器をとって通話開始でファイルを生成して、受話器を置いて通話を終了した時点でファイルを削除する場合。
この場合、生成ファイルの内容（顧客情報）を本自動録音アプリのファイル名にすることも可能です。

２）　ファイルが提供できない場合、通話開始時点と終了時点で内容が変化するファイルが CTI アプリの中に存在すること。
又そのファイルのアクセス権を開放できること。

３）　CTI 関連の顧客管理アプリ等が提供する電話中を示す何らかのサイン。

４）　IP 電話の LAN 構築利用、検討課題

なお、１）に付いては現在のアプリに既に組み込んでありますが、その他は御社との打ち合わせにより、バージョンアップいたします。お問い合わせください。

高英電子工業